

SLEEVE PILE

For Fences, Guard Fences, Signboards and etc...

フェンス・防護柵・看板等の簡易基礎工法 / スリーブパイル

スマートフォンから
施工動画へアクセス

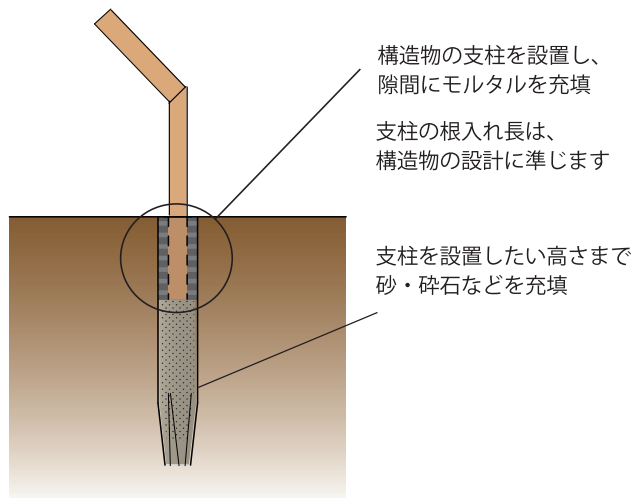
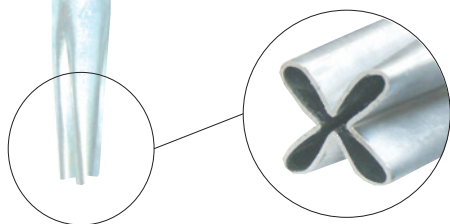


フェンス・防護柵・看板の簡易基礎工法

SLEEVE PILE

スリーブパイル

ハンディタイプの電動工具で打込むだけの基礎工法
鋼管先端に特殊プレス加工を施してあり、
鋼管内部への土砂の侵入が少なく、
支柱設置の際に土砂を取り除く作業が不要です。



タイプは2種類あります

スリーブパイルの実寸断面です。
設置される構造物の支柱がどちらのタイプに
適しているか、---線の○を基準にお選びください。

SP90

φ114.3 mm鋼管
高耐食性めっき鋼管
t = 2.3 mm

概ねφ90 mm以下の支柱に適用

概ねφ60 mm以下の支柱に適用

φ89.1 mm鋼管
高耐食性めっき鋼管
t = 2.3 mm

SP60

■スリーブパイル早見表

下表は、コンクリート基礎ブロックに対応するスリーブパイルの目安の長さを表しています。

コンクリート基礎ブロック				S P-6 0型		S P-9 0型	
G 1 (mm)	G 2 (mm)	H (mm)	参考重量 (kg)	L (mm)	重量 (kg)	L (mm)	重量 (kg)
180	180	450	25	800	3.9	800	5.1
200	200	400	30	800	3.9	800	5.1
200	200	600	40	800	3.9	800	5.1
300	300	400	56	800	3.9	800	5.1
300	300	450	64	800	3.9	800	5.1
400	400	400	103	800	3.9	800	5.1
300	300	600	88	1000	4.9	1000	6.4
400	400	600	157	1000	4.9	1000	6.4
500	500	500	193	1000	4.9	1000	6.4
200	200	800	56	1200	5.9	1000	6.4
500	500	600	233	1200	5.9	1000	6.4
300	300	800	120	1200	5.9	1200	7.6
200	200	1000	72	1500	7.4	1500	9.5
300	300	1000	154	1500	7.4	1500	9.5
400	400	800	215	1500	7.4	1500	9.5
500	500	800	316	1500	7.4	1500	9.5

※上記表はおおよその目安であり、正確な強度を保証するものではありません。

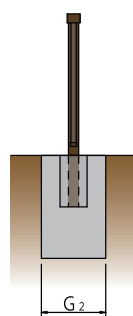
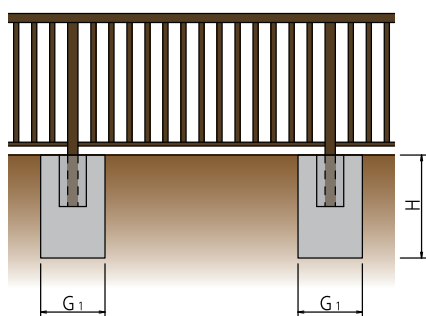
※S P-9 0型より大きいサイズについては特注品として承ります。

※800・1000・1200・1500(mm)の長さは在庫がございます。1500 mmを超える場合は特注品として承ります。

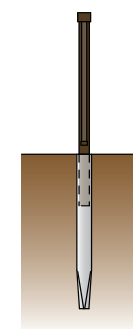
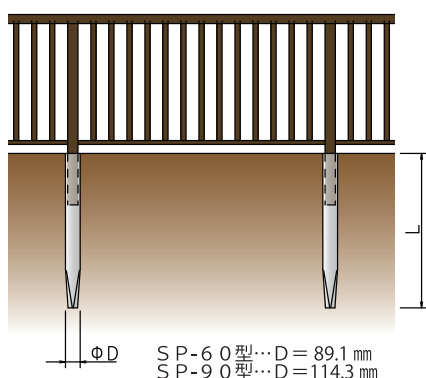
※正確なスリーブパイルの打込長さにつきましては、弊社にて構造計算を行い決定します。

※ステンレス材等への仕様変更も対応可能です。

コンクリート基礎



スリーブパイル



S P-6 0型…D=89.1 mm
S P-9 0型…D=114.3 mm



■施工道具

電動ハンマーでの施工 軟弱地盤～通常地盤向



※写真は、日立工機のPH-65A
(六角軸30mm・打撃エネルギー39.5J)

油圧杭打機での施工 高打撃力を要する硬い地盤向



※写真は、丸善工業のU-70-1型(油圧ユニット)と、
丸善工業のKH-240V(油圧杭打機)

■施工手順

1. 打込み開始



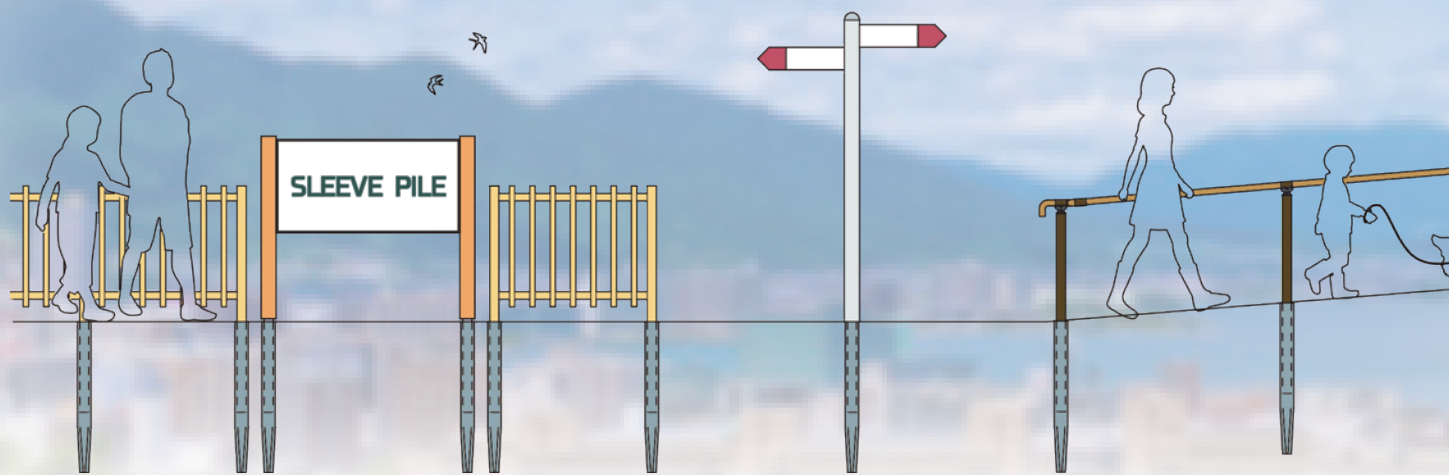
2. 打込み完了



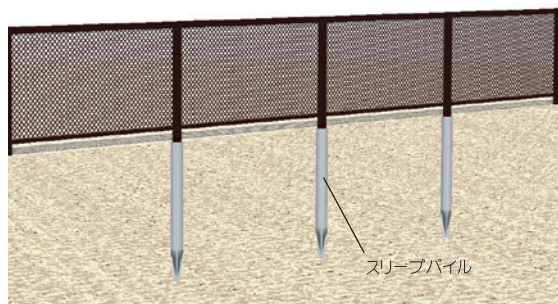
3. 看板設置



4. モルタル充填
設置完了



スリーブパイル



スリーブパイル

必要なし

鋼製の打込み杭は非常に軽量である

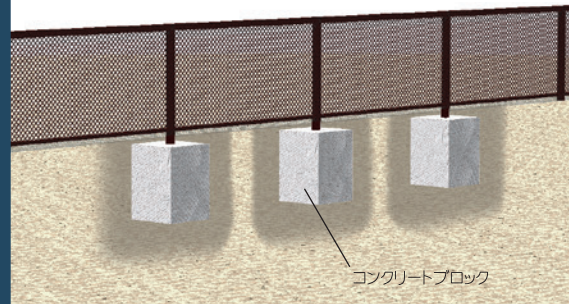
ハンディタイプの電動工具で打込むだけ

不要

- ・基礎の大きさが小さいので目立たない
- ・地表面の掘削がないので自然環境を壊さない

VS

在来工法



コンクリートブロック

コンクリートブロックを設置する場所の掘削が必要

重量物なので重い（重機が必要な場合も多い）

掘削底面の転圧が必要

埋め戻し量が多い、残土が発生する

- ・大きいコンクリートブロックの上面が目立つ
- ・地表面の掘削及び埋め戻しが多いので自然環境に影響

設置手順

- ① 掘削
- ② 運搬
- ③ 設置
- ④ 埋め戻し

景観性

■特徴・アプリケーション例

- ① 軽量、簡単施工、省スペース
- ② 工期短縮
- ③ 地盤の掘削、埋め戻しが不要

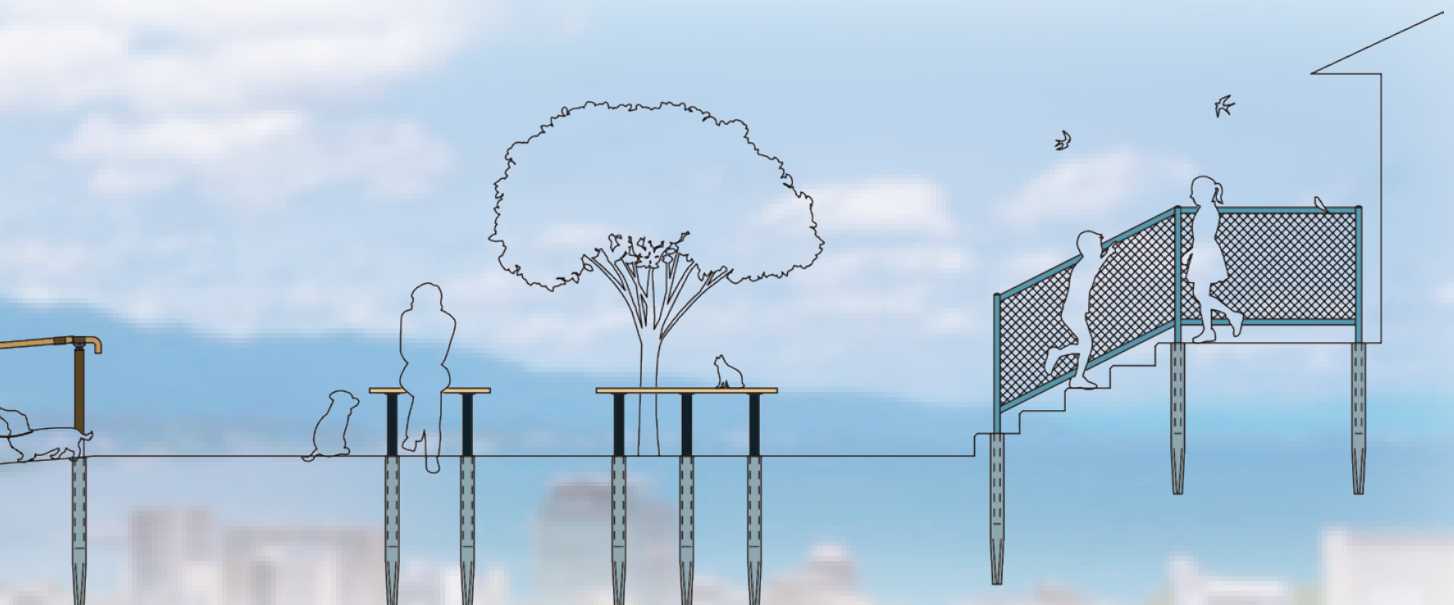
現状の植栽や施設を壊したくない場所



境界線際に設置したい場所



在来工法の施工・運搬が困難な場所





軽量

打込むだけの簡単施工

工期短縮

地盤の掘削、埋め戻しが不要

環境にやさしい

スリーブパイルの特徴

フェンス・防護柵・看板を設置するプロジェクトで下のような問題を抱えている場合に「スリーブパイル」をおすすめします



篠原園地（神奈川県）

☐ 地盤を掘削するための重機が進入できない場所

— スリーブパイルに重機は必要ありません

☐ 資材搬入用車両が進入できない場所

— スリーブパイルは軽量、人力で運搬可能です

☐ 自然環境や生態系を守りたい場所

— スリーブパイルは環境変化を最小限にします

☐ 工期を短縮したい場合

— スリーブパイルは施工が早くて、簡単です

☐ 残土処理をしたくない場合

— スリーブパイルは掘削による残土が発生しません

☐ 敷地境界線直近に設置したい場合

— スリーブパイルは小口径のため、最小面積での施工が可能です

☐ 地盤の凍結深度が深い場合

— スリーブパイルは凍結深度よりも深く打込みが可能です



株式会社ラスコジャパン

www.lasco.jp

本社／工場 〒673-0451 兵庫県三木市別所町近藤190-1

東京支社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-14住生新横浜第2ビル6F

仙台営業所 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字神明102-3

TEL 0794-86-0081

TEL 045-534-6814

TEL 022-794-8631

FAX 0794-86-2806

FAX 045-534-6782

FAX 022-794-8632